

横路福祉社会会報

〒七三七〇一三三
 呉市広横路四丁目一四六
 横路福祉社会
 編集発行人
 神垣伸司
 (0823)7118197



「・・・新たに挑戦・・・」

社会福祉法人 横路福祉社会
 理事長 神垣 伸司

昨年末、コロナ禍であらゆる生活様式が変化しました。緊急事態宣言の発出に併せて、都会ではテレワーク等の働き方が定着し、戦々恐々とした年でありました。地方では、マスクや消毒液の確保に奔走し、落ち着く間もなく、この5月にコロナ変異株の急拡大による2回目の宣言が発出されました。

コロナ感染症に対して身を挺して懸命に立ち向かっておられる医療関係者の皆さんの姿には、心から感謝申し上げたいと思います。

さて、私達保育現場では、宣言が発出されても、基本的には職員や園児が陽性患者にならない限り開所することが求められ、絶えず感染の危機を感じながら、子ども達の健康に気を使い、全てに細やかな仕事をし続けることが求められています。日々、自らが感染源にならないことを祈りつつ、目に見えないものと闘い続けることも、ほとほと疲れてきました。救世主と言われるワクチン接種が医療関係者、高齢者と進んではいるものの、学校や幼稚園と比べ、一番規制の緩い保育所の保育士にこそ、出来るだけ早いワクチン接種が望まれます。

一方、保育所での日々の活動の制限は、子ども達の保育生活にも少なし影響を与えることは必至で、新たな挑戦による達成感や人前での発表力や自信をどう向上させることができるか、この一年大きく揺らいだ年でもありました。

こうした中、横路保育所は創立72年を迎え、いみじくもオリンピックキヤーです。競技観戦は楽しみだが、コロナ感染は不安と複雑な心境です。

横路保育所の子ども達も、オリンピック選手と同じで、保護者の前で自分の頑張る姿を見てもらいたいと考えているに違いありません。様々な制約がありますが、機会をとらえて子どもの活躍や平素の保育状況等を、今年から運用しているコードモンにて配信する予定です。短い時間ではありますが参観した気分となつて、家庭で子どもと向き合っていたらと存じます。

今年こそ、何らかの形で各種行事が実施でき、子どもの生き生きとした姿を見ていただく日が一日も早く来ますように・・・「新たに挑戦」。

令和2年度 事業報告書

1. 保育児童数の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0才児	9	9	9	10	12	12	12	12	12	12	12	12	133
1・2才児	42	42	42	42	41	41	41	41	41	41	41	41	496
3才児	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336
4才以上児	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	696
計	137	137	137	138	139	139	139	139	139	139	139	139	1,661
開所日数	25	23	26	25	25	24	27	23	24	23	22	26	293

2. 一時保育利用者数(延べ人数)の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
3才未満児	60	6	73	81	74	94	78	93	89	99	107	130	984
3才以上児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	60	6	73	81	74	94	78	93	89	99	107	130	984

3. 延長保育利用者数の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
(標)利用者	128	119	218	198	184	247	223	207	198	180	166	227	2295
(短)利用者	1	3	8	5	5	0	1	3	2	12	8	15	63

令和2年度 社会福祉法人 横路福祉社会

単位:円

貸借対照表

令和3年3月31日

科目	金額	科目	金額
流動資産	40,594,880	流動負債	2,696,173
固定資産	155,598,359	固定負債	7,117,000
		基本金	9,325,625
		国庫補助金等特別積立金	29,836,470
		その他の積立金	87,950,000
		次期繰越活動収支差額	59,267,971
計	196,193,239	計	196,193,329

自 令和2年4月1日

収支決算書

至 令和3年3月31日

科目	金額	科目	金額
人件費支出	104,806,885	保育所運営費収入	147,574,240
事業費支出	16,476,248	受取利息配当金収入	96,375
事務費支出	10,220,486	その他の収入	1,685,960
その他の支出	2,268,387	施設整備等補助金収入	488,000
固定資産取得支出	9,740,610	積立資産取崩収入	306,800
積立預金積立支出	627,000		
当期資金収支差額	6,011,759		
計	150,151,375	計	150,151,375



令和3年度 第1回役員会・評議員会

去る5月27日役員会、6月17日評議員会を開催し、令和2年度の事業内容と事業決算について審議の上承認されました。

詳細(事業内容・財務諸表)はホームページ上で公開していますのでご覧ください。

令和2年度事業報告書

1. 事業の概要

- 本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、日々の保育や活動に少なからず影響を与えてきた。予防対策に全力を注いだが、保育所では感染リスクをゼロ(最も密になる環境)にすることは不可能なことから、保育士も家族も不安な中での保育となった。子どもたちの成長に必要な各種行事は、安全性をより確保できる事業の取捨選択と実施方法に工夫を凝らし、各クラス別や少人数での実施となった。様々な制約がある中での保育となったことから、行事経験を通じた自信や想い出作りには繋がりにくい現実となったが、クラス別行事を増やすことで子どもたちのストレス解消に努めた。特に保護者の協力のもと徹底した体温管理、手洗い、うがいの実施や保育室の環境整備に努めた。体力向上のため、クラス別体操や園庭内のランニングを行った。年長児は、異年齢交流を中止としたが、クラス内での役割割番を決め、給食や掃除等のお手伝いを行うことで、自主性の醸成につながった。また、本に向き合う時間を増やすことで、数や字に興味を持ちチャレンジすることができた。絵本の読み聞かせは、各クラス毎の実施とし、回数の増加やその方法に工夫を凝らした。国際大学生のボランティアによる食育に関する絵本会は、健康管理の徹底を図るため一時中断したが、年長児のみを対象として開催する等、創造性の芽生えと集中力の養成につながった。一方、保護者に対しては、保育士の推薦する絵本だよりの発行や本の貸し出しを推奨し、家庭内で本と触れ合う機会を増やした。なお、本年度は、感染症対策として、絵本の消毒や貸し出し期間の工夫を行った。
- 情報公開については、積極的な情報公開を行い、公明正大な保育所運営に努めた。また、閲覧図書コーナーでは、義務付けられている公開文章をはじめ、個人情報には留意しながら保育所の自己評価や苦情内容等も公開している。
- 健やかな発育・発達のための食生活支援として、管理栄養士による園独自のメニューを組み、出汁は全てイリコや昆布の自然素材調理を実施している。年々増加傾向にある食物アレルギー疾患児童に対しては、医師や保護者と管理栄養士・調理員・保育士が連携して子どもの状況を的確に把握するとともに、写真付き除去確認票で確認する等、事故防止対策に努めた。毎月の給食検討委員会で季節感のあるメニューの検討導入に取り組んだ。また、育ちの中での「食」への取り組み状況を保護者に伝え、保育所と家庭が一体となった子育てに力を入れてきた。



「憧れだった保育士」

保育士 森 智佳

私は横路保育所で働かせていただくようになって3年目になりました。小学校の頃から将来の夢を書く欄には「保育士」と書き、学校の授業や職場体験でいろんな園に行かせてもらい先生方の姿を見て、より保育士という仕事に憧れを持ち保育士になりたい思いが強くなっていきました。

短大では想像していた以上に課題や実習に追われ、心が折れそうな時もありました。また学んでいく中で保育士という仕事の楽しさだけでなく、難しさや大変な部分を知り、甘く考えていたことにも気づきました。でも保育士になりたい思いは変わることはありませんでした。

そして、憧れだった保育士になることができ嬉しい気持ちもありました。その反面、自分が先生が務まるのか不安も大きく、その不安は今もあります。自分への自信のなさや、これでいいのかなと不安で悩んだこともあります。でも失敗したり、悩んで考えることで自分を成長させていくことができると思っています。また子どもたちが「もりせんせい」と元気に呼んでくれることや、ほっこりするかわいい姿、頑張っている姿などにたくさんパワーをもらい頑張ることができています。

1年目「りす組」、2年目「もも組」を担当させて頂き、そして3年目は「うさぎ組」。クラスによって保育も違い、「こんな方法があるんだ、こうするといいんだ」と毎日発見があります。また子どもたちの笑顔やかわいさに癒され毎日楽しいです。そして先生方、家族、友だちなどいろいろな人の支えがあるから私は仕事をする事ができています。そんな環境で働かせていただいていることに感謝の毎日です。感謝の気持ちと笑顔を忘れず、私自身も子どもたちと共に成長していきたいと思っています。



「子育ては親育て、親として大切なこと」

保育士 糀屋 純子



「お誕生日おめでとう。」
「やっつと20歳だよー。これまでありがとう。」

これは県外に住む私の息子とのラインのやり取りである。令和3年6月4日で、我が家の末っ子息子が20歳を迎えた。只今大学2年生でその上に24歳の長女、29歳の長男と私は3人の子どもの母親である。最愛の夫を病気で亡くしたのは、末っ子がまだ2歳の時であった。あれから18年の間、私は3人の子どもたちを元気で20歳まで大きくしていく事が自分の生きがいであり使命だと思いがら必死で育てて来た(様な気がする)。6月4日の早朝、いつもの様に仏壇に手を合わせて亡くなった夫に、「無事20歳を迎えたよ。ありがとう。」と報告できた。その日は一日中、仕事をしながらフワーツとした気持ちだった。肩の荷が下りた様な、感動して嬉しい様な、安心した様な、寂しい様な複雑な気持ちが入り混じってうまく言葉では言い表せない気持ちだった。私の「子育て終了」とも思った。

“子育ての名人”と呼ばれているパナソニックの創業者である松下幸之助さんは、企業家として多くの優秀な社員や後継経営者を育ててきた。そのリーダー論や人材育成術は子育てにも応用できる考え方があって言っている。

子育てで大切なことは、まず「大人が素直な心で接し良いこと悪いことの分別を教える」又、「言うべきことを言い、叱るべき時に叱り、かわいがる時にかわいがる。こうして育てられた子どもは感謝する心を学ぶ。」と言っている。私はそれプラス「子どもの気持ちに寄り添い思いやりを持って育てていく。」ことも大切なのではないかと思う。一人で育てている間、イライラしたり悩んだり不安になった事もある。正直、一日一日が忙しすぎてどんな風にも過ぎていたのか? 思い出せない時期もある。子どもたちの笑顔に救われ、子どもたちと一緒にいられる事がとても



幸せだが落ち込む事もあった。それでも周りの人たちに支えられ声をかけてもらったりすると「一人じゃないんだな」と感謝し、また明日から頑張ろうと思える事は多かった。自分の子育てを振り返ってみると、親が落ち着いた気持ちでしつかりと思いを伝えたり、感情ではなく愛情を持って叱った時は子どももちゃんと分かってくれた。反対に子どもにも「もつと〇〇して欲しかった。」と「どうせ〇〇なくせに。」と言われた時には親も反省し、色々な事に気づかされた。夫を亡くした事は本当に辛い事でも多かったが、それ以上に日々努力して頑張る子どもたちの姿に喜びや感動を与えられたことも多かった。子どもがいてくれたお陰で、これまで頑張ってきた自分からだと言うことにも違いない。子育ては、もしかしたら親が子どもに育ててもらっていると言えるのかもしれない。保育所の子どもたち、我が家の子どもたち、いつも私は子育て(保育)しながらパワーをもらい、一緒に成長させてもらってきたのだと改めて感じている。「嬉しいね。」「楽しいね。」「大変だったね。」「痛かったね。」「よく頑張ってきたね。」「悲しかったね。」「しんどかったね。」と、その時々相手の気持ちに寄り添うと随分落ち着く。自分もそうだった。これは子育てにおいても保育においても、保護者の方に対しても、職場の人たちに対しても大切なことだと思う。

子育ては一段落したが、何歳になっても我が子は愛おしいものだ。保育所の子どもたちも可愛く好きである。親として、保育士として大切なことを忘れず、今後も愛情を持って接していきたい、日々自分も成長していきたい。『子育ては親育て』なんだと、つくづく思った。

